



岡山大学法学部だより



※ 本メールは法学部の教職員、在学生、卒業生および岡山大学法学部ホームページから登録された方にお送りしています

第 113 号(2015 年 7 月 28 日発行)

発行：岡山大学法学部 学部長室

毎月 2 回程度発行している法学部だよりですが、8 月はお休みをいただきます。

楽しい夏休みをお過ごしください。

目次

- 「夏休みの過ごし方」
- 法学部からのお知らせ

- 「夏休みの過ごし方」

もうすぐ夏休み、学生の皆さんはどのように過ごそうと思っていますか。今から、かれこれ 40 年前の自分の学生時代を振り返ると、今こうして大学で職を得ている自分があることがとても不思議に感じられます。

大学 2 年生、3 年生の夏休み、その大半を木曾川のほとりにあるキャンプ場で過ごしました。YMCA という団体が主催するキャンプ場のキャンプリーダーとして、毎日入れ替わりやってくる名古屋近郊の小学生とキャンプ生活をしていました。毎日、飯ごう炊飯をし、キャンプファイヤーに興じるといった生活でしたが、ほとんどキャンプ場に居続け、時折、「娑婆」に帰ると言って自宅に戻るといった状態でした。友人に誘われたのがきっかけですが、愛知県内の様々な大学から集まったリーダー同士の交流が楽しく、新鮮だったことが、疲れきって帰宅しても、また数日してキャンプ場に戻ろうという気持ちが起る原動力となった気がします。当時、キャンプ場で一生懸命学んだことといえば、新聞紙を使わないで火をおこすことや、ロープの結び方、トーチのまわし方などなど、今思えばたわいないことですが、大切なことは、初めてのことを懸命にしてみることであったように思えます。

キャンプ場は、木曾川の河川敷にあったため、大雨が降り、上流のダムが放水すると、テントを撤収しなければなりません。当時のテントは、木製のパネルを敷いていましたので、水が来るとパネルが流されてしまいます。ある時、スタッフが放水のサイレンに気づくのが遅れ、腰まで濁流につかりながら、テントの撤収に向かいました。両足で 2 枚のパネルを押さえ、両手で 2 枚のパネルをつかんだ瞬間、かけていた眼鏡が濁流の中にポトリ。今思うと、事故がなかったことが不思議です。

こんな夏の経験が今の自分にどうつながるのかは定かではありませんが、かつてのキャンプリーダー達とは今でも交流があり、それぞれが異なる分野で活躍していることが刺激になっています。やんちゃな小学生を相手にした経験が、「やんちゃな」大学生にも寛容でいられる原因かもしれません。皆さんも、人生に 2 度とない夏休み、どんなことでもチャレンジしてみることをお勧めします。今は分からなくても、その体験はきっと皆さんの将来の糧になるものと思います。

それでは、よい夏休みを。

法学部教授 佐野 寛

- 法学部からのお知らせ

☆岡山大学オープンキャンパス（法学部）

2015 年岡山大学オープンキャンパス（法学部）は、8 月 8 日（土）14 時から（受付は 13 時半から）実施します。お申込みは、以下の web ページを御覧ください。

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/prospective/koukai01.html>

- ・本メルマガは、毎月 2 回程度配信しています。
- ・法学部の詳細情報に関しては、HP も併せてご覧ください。
法学部 HP <http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/index.html>
- ・本メルマガには返信なさないようにお願いします。
- ・本メルマガの登録・解除は、以下の URL にてお願いします。
<http://www.okayama-u.ac.jp/user/law/local/mail/index.html>
- ・ご意見・ご感想は、法学部 情報委員会 joho-mailmaga@law.okayama-u.ac.jp まで。